

ジェンダー平等・貧困削減推進室だより

2017年12月27日 第14号
社会基盤・平和構築部 ジェンダー平等・貧困削減推進室

1. リレーエッセイ：宮崎室長

2. 国際女性会議 WAW! 2017 の開催

3. 国際女性会議 WAW! 2017 サイドイベントの開催

4. 能力強化研修「ジェンダー主流化」コースの実施

5. 途上国発インクルーシブビジネスセミナー～SDGs x 貧困 x ジェンダー x 民間連携～ を実施

1. リレーエッセイ：宮崎室長

女性の起業支援は JICA がジェンダー平等と女性のエンパワメントを推進するための、重要なテーマの1つである。

JICA が関わらせて頂くいろいろなイベントの中で、日本国内外でご活躍の女性企業家からお話しを聞く機会がある。あまたある社会課題の解決に果敢に取り組まれ、その生き生きとした綺羅星のように輝く女性達の存在に感動すら覚える。そして、感動と反比例する形で、自分自身の仕事のやり方がこのままで良いのか、プライベートでもっとやれることがあるのではないかと自己嫌悪に陥る。

例えば、12/4（月）に渋谷のヒカリエで開催された国際女性会議（World Assembly for Women:WAW!2017）の公式サイドイベントもその一つ。

障害者も含む社会的弱者の一人ひとりの希望を聴きながら丁寧な職業訓練を

実施し、クリエイターとして身を立てられるようになる人、大企業への就職を実現した人等、それぞれの雇用の確保に尽力されているベトナムの企業家など、人間の安全保障や SDGs の精神である「人間ひとりひとり」に着目している女性達の姿がまぶしかった。どうしても数をカバーすることに注力しがちで、ひとりひとりにきめ細かく取り組めない JICA だからこそ、こういう企業家たちと組んで、事業することが重要なのではないかと思う。

では、各事業に合ったそういう企業家等がどこにいるのか。どうやって探すのか？ SNS の活用、あるいはアンテナを張り巡らせて、ネットワークを持つ人々とうまくネットワークを形成するしかないだろうが、人とつるんだり、仲間と和気あいあいとやることが不得意で、個人で引きこもっている方が好きな私自身、ネットワークを広げて行くよう、殻を破らねばと考える今日この頃である。(そんなことを言える歳でも立場でもないのですが、頑張ります。)

2. 国際女性会議WAW! 2017の開催

2017年11月1日から3日に、世界の政治やビジネスのリーダー、有識者を招いて国際女性会議（World Assembly for Women）が都内で開催されました。頭文字をとって WAW！（ワウ）と呼ばれる同会議は、女性の活躍促進の方策を世界へ発信することを目的に、2014年から日本政府が毎年開催しています。WAW! 2017 のテーマは「WAW! in Changing World」。2017年7月のG20サミットにおいて女性起業家資金イニシアティブ（注1）の設立が発表されるなど、世界的に注目が高まる女性起業家支援をはじめとして活発な議論が行われました。



会議の様子

北岡理事長は、1日、安倍昭恵首相夫人による開会スピーチや基調講演に続いて開催されたパネル・ディスカッション「女性と起業」に登壇し、日本はジェンダー・ギャップの点で世界から遅れをとっているものの、歴史的に見ると女性が活躍した国であるとしたうえで、女性が新しい時代に合わせたビジネスを起こすポテンシャルを有していたことを強調しました。また、JICAが途上国で女性の起業を支援した事例として、キルギスにおける女性の小規模ビジネスの振興支援や、エチオピアやASEAN諸国等における女性起業家の資金アクセス改善に向けた支援について紹介しました。最後に、JICAは、女性のポテンシャルの発揮や女性の社会進出を阻む障壁の撤廃に向けた支援を引き続き行い、女性の起業を支援していく決意を表明しました。



パネル・ディスカッションに登壇する北岡理事長

2日には、河野太郎外務大臣による全体会合開会挨拶において、日本政府のジェンダー平等や女性のエンパワメント分野に係る代表的事例としてメコン地域における人身取引対策支援等が紹介された後、女性・平和・安全保障に係るハイレベル・ラウンドテーブル等、7つのセッションが開催されました。

3日には、世界銀行と日本政府の共催によるWAW！特別イベントが開催され、安倍晋三首相による開会挨拶において、JICAの実施する起業家支援プログラム（注3）への参加を通じ、ビジネスを立ち上げカンボジアの農村地域の貧困問題解決に向け活躍している女性起業家リム・ポーターさんの事例が紹介されました。また、米国トランプ大統領の補佐官であるイヴァンカ・トランプ氏による特別講演が行われ、女性の経済的エンパワメントの重要性を強調しました。

3. 国際女性会議 WAW! 2017 サイドイベントの開催

WAW! 2017 サイドイベントとして、12月4日（月）、JICA は日本財団と共催で、渋谷ヒカリエにて新興女性企業家フォーラムを開催しました。3度目になる今回は、日本、ガーナ、ザンビア、インドネシア、ベトナムから 8 名の女性企業家等が登壇し、SDGs 達成に向けた「女性のエンパワメント」「グローバル・パートナーシップ」をテーマにディスカッションを繰り広げました。

「地域の多くの女性をビジネスに巻き込むことで、多くの原料（シアバターの実）を集めることができ、家庭や社会にも良い効果をもたらしている」（元 JICA 研修員、ガーナのジョージナ氏）、「女性は創造性、共感性があり、多様な視点を持つ共同クリエイター。女性が“本来持っている力”を発揮すべき」（同、ザンビアのグウェン氏）等と力強いメッセージが寄せられ、会場を埋めた 100 人それぞれが SDGs 達成に向けて取り組むべきことを考える良い機会となりました。



ザンビア出身のグウェン氏のプレゼンテーションの様子
写真：望月小夜加（AWSSEN）



ガーナ出身のジョージナ氏のプレゼンテーションの様子
写真：望月小夜加（AWSEN）

- （注 1）女性起業家資金イニシアティブ：Women Entrepreneurs Finance Initiative（We-Fi）。世界銀行に設立。日本政府も 5,000 万ドルの拠出を表明。
- （注 2）UN Women：United Nations Entity for Gender Equality and Empowerment of Women（ジェンダー平等と女性のエンパワーメントのための国連機関）の略称。
- （注 3）カンボジア日本人材開発センターにおいて提供。

4. 能力強化研修「ジェンダー主流化」コースの実施

2017 年 12 月 6 日から 8 日の 3 日間にわたり、能力強化研修「ジェンダー主流化」を実施しました。本研修は、JICA 事業に携わるコンサルタントの方々等を対象に、従事している事業や将来案件に、ジェンダーの視点に立った活動を取り入れるための「実践力」を高めて頂くことを目的としています。そのため、研修プログラムは、実践的な手法やアプローチを習得するための演習や、具体的な事例紹介をメインとする構成になっています。演習では、交通インフラ案件や農業案件において、ジェンダー視点に立った活動を PDM や詳細計画に組み入れるための

グループワークを実施しました。最終日には、各グループが、架空の JICA 事業に対する応札者としてジェンダーの視点に立ったプロポーザルを作成し、プレゼンをするというシミュレーションをしたところ、大変白熱したプレゼン大会となりました。



プレゼン大会での発表の様子

【参加者のジェンダー平等・貧困削減推進室 ジュニア専門員の藤田さんの感想】

ジェンダーの視点をどのようにプロジェクトに組み込むかについて、実践的な手法や知見を習得でき大変有益な3日間でした。過去の案件のみならず、現在進行中の事例に基づいて講師の方々からお話を伺い、ジェンダー主流化のための具体的なアプローチを深く理解することができました。また参加者には「ジェンダー団員」としてプロジェクトに携わった経験がある方もおり、現場での苦労や課題について生の声を聴けたので参考になりました。将来自分が専門家として派遣される機会があれば、研修で得た手法を活用し、ジェンダー視点に立ったプロジェクトの形成に携わりたいと考えます。

5. 途上国発インクルーシブビジネスセミナー～SDGs×貧困×ジェンダー×民間連携～を実施

SDGsが標榜する「誰も取り残さない」持続的な開発や貧困削減を実現するためには、貧困層等、開発のプロセスや恩恵から置き去りにされがちであった人々に焦点を当て、そういった人々が必要とするサービスを確実に提供するよりイノベティブな方法の検討が必要です。ジェンダー平等・貧困削減推進室では、「途上国現地発」の「貧困層を巻き込んだインクルーシブビジネス」に焦点を当て、インド、ケニア、ウガンダにて、現地民間企業やドナーなど、多様なステークホルダーとの連携を行っている事例や他ドナーの取組を分析しました。セミナーではJICA内関係各部の意見を参考にしながら、今後のJICA事業における提言をとりまとめました。



セミナー会場の様子

JICA 社会基盤・平和構築部 ジェンダー平等・貧困削減推進室

※本MLの配信停止を希望の方は、お手数ですが、ジェンダー平等・貧困削減推進室

支援ユニット：kadaishien-keizai@jica.go.jpまでお知らせください。

※表示の不具合がありましたら、お手数ですが、ジェンダー平等・貧困削減推進室

支援ユニット：kadaishien-keizai@jica.go.jpまでお知らせください。
